



EFEKTIVITAS TEKNIK MEMBACA CEPAT (SKIMMING) DALAM PENGAJARAN DOKKAI

(スマラン国立大学で読解におけるスキミングの速読技術の効果的)

Revian Chahyanie Kusumaningtyas[✉]

Jurusan Bahasa dan Sastra Asing, Fakultas Bahasa dan Seni, Universitas Negeri Semarang,
Indonesia

Info Artikel

Sejarah Artikel:

Diterima April 2013
Disetujui April 2013
Dipublikasikan April
2013

Keywords:

*efektivitas, teknik membaca
cepat (skimming), dokkai*

Abstrak

Kegiatan membaca dalam bahasa Jepang disebut dengan dokkai. Setelah melakukan studi pendahuluan pada mahasiswa semester II pada mata kuliah dokkai, hasilnya menunjukkan bahwa hampir seluruh mahasiswa merasa kesulitan dalam mata kuliah dokkai. Mahasiswa juga tidak bisa menjawab pertanyaan dengan cepat dan tepat ketika mengikuti ujian dokkai dengan bacaan yang cukup panjang, serta membutuhkan waktu yang lama dalam menemukan ide pokok dalam bacaan. Hal tersebut dikarenakan belum ada teknik atau metode yang digunakan dalam pengajaran dokkai. Untuk mengatasi masalah tersebut, peneliti mencoba menerapkan sebuah teknik baru dalam pengajaran dokkai, yaitu teknik membaca cepat skimming.

© 2013 Universitas Negeri Semarang

[✉] Alamat korespondensi:

Gedung B4 Lantai 1 FBS Unnes
Kampus Sekaran, Gunungpati, Semarang, 50229
E-mail: pbjunnes@gmail.com

ISSN 2252-6250

背景

読解のは一つの言語機能である。それで、人間が聴く能力、話す能力、書く能力の以外、読む能力を持ったなければならない。読むことは役立つを持ち、たとえば、読むことを通じて、知識を得る。また、言葉の数が上がる。読解とは日本語の読み物を読み、それに読み物の内容を理解することである。Tarigan (1990: 9) は「読むことの目的は情報を得り、それに読み物の内容を理解することである」とのべり、読むことの本の目的は読み物の内容を理解するから、読解の授業に、内容を理解せずただ文字（片仮名、平仮名、漢字）文法、言葉だけ知っているのが足りない。

ひしゃは2011年どの日本語教育プログラムの二学期の学生に読解の授業で観察が行われた。結果はやく93,3% 学生が読解に対して難しさを向ける一方、7,7% 学生は難しさを向けない。また、読み物が長いので問題を速く答えられない学生は73,3%で、速く答えれる学生が27,7%、56,7%で学生は大切なアイデアを探すように時間かかり、その反対は43,3%。さらに読み物の内容を理解するように、学生が様々な方法を使う。それは一つ一つの単語の意味を探す方法（43,3%）で、段落にある主なアイデアを探す方法（43,3%）で、他の方法を使う学生が13,4%である。つまり、急いで問題を答えられるのが必要である。その問題を解決するために、読解にスキミングの速読技術を使う方法を研究したいと思う。

基礎的な理論

a. 読解

1) 読解の意味

学習漢字字典に（1996：815）明保によると、読解は文章を読んで、その内容を理解することである。

2) 読解のレベル

中西（1991:210）は読解のレベルが三つある。それは初級、中級、上級とのべる。

初級の教科書の多くには、その課の本文の会話文（ダイアログ）と同じ内容を文書体に書き直したものか、そのかで教える機能、場面、構文に関する表現を含めた文章が、読みの練習としてついている。

中級と上級では程度が違うが、読解のやり方に関しては同じように工夫できるので、一緒に扱うことにする。

b. スキミングの技術

1) スキミングの技術の意味

Haryadi (2006: 15)によると、スキミングとは速く内容を大切な情報を見つけるように全部の読み物を速く読む技術である。

2) スキミング技術の目的

HaryadiにTarigan（2006：160）によると、スキミング技術の目的は五つあり、それは：

- 読み物の話題を知る
- 意見を知る
- 大事な部分を知る
- こうぞうを知る
- 一般的の印象を知る

3) スキミング技術の読み方

オカ(1998: 2)によると、日本語でスキミング技術の読み方が三つある。それは、

- 文章全体を速く読んで、要点や大意をつかむ。
- 速くキーワードを見つけて、あまり重要ではないところはとばす。
- 常に「先の予測」「わからない部分の推測」「前後から類推」をしなながら、読み進む。

研究の方法

a. 研究のアプローチ

本研究に使われている研究のアプローチは実験的な研究デザインである。この研究の方法は実験的なクラスとコントロールクラスを使うので、実験的なアプローチということである。

b. 被験者とサンプル

本研究に被験者はスマラン国立大学の教育プログラムの全員の三学期の学生である。サンプルとしては読解初中級の1組と2組の学生である。

c. データ収集方法

学生の読解能力のデータを受け取るためにテスト法を使う。テスト法は一回でスキミングの速読で授業を受けたあとと行われた。テストは実験が終わったあと 実験クラス及びコントロールクラスに一回与えた。

d. 妥当性と信頼性

1) 妥当性

本研究では妥当性は内容的妥当性を使用した。テストの内容はスマラン国立大学で使われる「みんなの日本語初級II 初級で読めるトピック25」という本を参照した。

2) 信頼性

本研究で与えたテストは信頼性があるかどうかを知るために、2012年9月10日に10三学期の学生に協力してもらい、テストを試みた。

データ分析

データ分析の結果は、実験クラスのテスト平均点は83,88で、コントロールクラスの平均点は74,80である。そこで、実験クラスの平均点はコントロールクラスの平均点よりもっと高いとは分かった。そして、得られたデータを t 検定で勝利し、 t 検定が3,301である。それは計数表に書いてある点(2.00)より高い。つまり、スマラン国立大学の日本語の教育プログラムの三学期の学生にスキミングの速読技術は読解に効果する。

結論

データの処理の結果に基づき、スマラン国立大学におけるスキミングの速読技術の使用は効果的であると結論付けられる。

Daftar Pustaka

- Akiko, Makino dkk. 2000. *Minna no Nihongo shokyuu II : shokyuu de yomeru topikku 25*. Tokyo : 3A Corporation.
- Akiyasu, Todo. 1996. *Gakushuu Kanji Jiten*. Jepang : Shoogakukan.
- Arikunto, Suharsimi. 2006. *Prosedur Penelitian Suatu Pendekatan Praktik*. Jakarta : Rineka Cipta.
- Haryadi. 2006. *Retorika Membaca : Model, Metode, dan Teknik*. Semarang : Rumah Indonesia Semarang.
- Nakanishi, Yaeko dan Naoko Cino. 1991. *Nihongo wo oshieru*. Japan
- Nurhadi. 2004. *Bagaimana Meningkatkan Kemampuan Membaca: Suatu Teknik Memahami Literatur yang Efisien*. Bandung : Sinar Baru Algensindo.
- Nurhadi. 2005. *Membaca Cepat dan Efektif: Teori dan Latihan*. Bandung : Sinar Baru Algensindo.
- Oka, Mayumi. 1998. *Chuu.joukyuusha no tame no sokudoku no nihongo*. Tokyo : The Japan Times.
- Purwaningsih, Dwi. 2010. *Peningkatan Keterampilan Membaca Cepat untuk Menemukan Ide Pokok dengan Teknik Skipping Pola Horisontal Siswa Kelas X.2 SMA 1 Karangobar Banjarnegara*. Skripsi : Universitas Negeri Semarang.
- Sutedi, Dedi. 2009. *Metode Pendidikan Bahasa Jepang*. Bandung : Humaniora.
- Tarigan, Henry Guntur. 1990. *Membaca : Sebagai Suatu Keterampilan Berbahasa*. Bandung : Angkasa Bandung.
- Yarraguchi, Matsumura. 1998. *Kokugo Jiten*. Jepang : Obunsha
- <http://www.hisamura.com>
- <http://ja.wikipedia.org/wiki/読解>